

8月 2022

セピア色のネパール(3):マルクス・レーニン・毛沢東と古来の神仏

たち

ネパールに初めて行った頃、街でも村でも、共産主義の様々なシンボルやプロパガンダがヒンドゥー教や仏教の神仏たちと、いたるところで並存・混在しているのを見て驚いた。まるで共産主義が神仏と共闘しているかのようだ。

日本でも、かつて革新勢力の牙城だった京都が、これに似た状況にあった。京都には古い寺院が多く、確固とした伝統と地域社会への影響力を保持していた。また一方、京都には大学も多くあり、庶民に京都の誇りとして一目置かれ、大切にされていた。その京都の大学では当時、社会主義や共産主義を支持し活動する教職員や学生が多数いたが、庶民は「大学さんやから」とこれを黙認し、あるいは支持さえしていた。京都では、本来異質な伝統的宗教と革新的社会主義・共産主義が平和共存していたのである。

その京都を目の敵にし、京都への強権的介入を始めたのが、自民党政権。が、この中央からの介入は、誇り高き京都の逆鱗に触れた。京都の寺院勢力と社共革新勢力は、自民党中央政府への抵抗・反対で利害が一致し、従来の消極的平和共存の枠から一步外に出て、陰に陽に「共闘」することになった。他地域から見れば、これは無節操な「野合」かもしれないが、政治的には実利があり、その限りでは十分に合理的な選択であった。

この京都の状況を見ていたので、ネパールにおける共産主義と神仏の並存・混在それ自体には驚かなかったが、ネパールにおけるそれは京都の比ではなかった。いたるところで、仏陀とその弟子やヒンドゥーの神々たちが、マルクス・レーニン・毛沢東・ゲバラらと相並び、庶民を見守っていたのだ。

政治的打算や実利は、むしろ双方にあっただろう。が、実際にはそんな表面的なものではないことが、すぐに判った。多くの人々が、伝統的なヒンドゥーや仏教の生活様式——カースト制など——を堅持しつつ、同時に他方ではマルクス、レーニン、毛沢東、チェ・ゲバラらのスローガンや肖像をかけた、行進したり集会を開いたりしていた。たとえば、当時の「共産党-統一マルクスレーニン派」も、正統的中道の会議派(कांग्रेस党)以上に、ヒンドゥー王国の守護者たる王族と近い関係にあった。左手に共産党宣言、右手に古来の経典！

ネパールは、政治的にも「神秘の国」だったのだ。



■カトマンズ市内 1993年8月

谷川昌幸

Written by Tanigawa [編集](#)

2022/08/30 at 17:02

カテゴリー: [ネパール](#), [マオイスト](#), [社会](#), [国王](#), [宗教](#), [文化](#), [歴史](#)

Tagged with [ヒンドゥー](#), [マルクス](#), [レーニン](#), [毛沢東](#), [京都](#), [仏教](#)

セピア色のネパール(2): エリート校の先進性

1993年撮影の秘書的事務職専門学校の授業風景。良家子女のための学校だが、当時としては最新で高度。

授業はもちろん英語。英語で教え、学ぶ。実務的な教科に加え、地歴や数学など関連分野の授業もやっていた。

実技は、機械式の英文タイプだけでなく、パソコンも教えていた。民族衣装でのタイプライターやパソコンの練習は、日本人にとっては異国情緒にあふれ、絵になる。

それにしても、1993年にはすでに最新のパソコン教育が行われていた。意欲的にして先駆的！

さらに女性対象の秘書的事務職専門学校だと思われるのに、少数ながら男性も一緒に学んでいた。その限りでは、当時の日本よりはるかに先進的！



■世界地図を使つての授業



■機械式英文タイプの練習



■パソコンの練習



■タイプ練習中の6人のうち3人は男性

谷川昌幸(C)

Written by Tanigawa [編集](#)

2022/08/28 at 10:24

カテゴリー: [ネパール](#), [経済](#), [情報 IT](#), [教育](#)

Tagged with [ジェンダー](#), [秘書](#), [専門学校](#), [事務職](#)

セピア色のネパール(1): 写真のデジタル化保存

ネパールに初めて行ってから早や四半世紀。撮りためた写真も、その時々記憶も鮮明さを失い、セピア色に退色しつつある。自然の摂理とはいえ、淋しさを禁じ得ない。

そこで、身辺整理も兼ね、写真をデジタル化し、保存することにした。

といっても、もともと記録・整理が不得手なうえに転勤・転居が重なり、写真はあちこちに散乱、撮影日時・場所の特定もできないものが多い。そのため史料価値のない写真が大半であろうが、デジタル化すれば、少なくとも重くて嵩張る紙焼き写真は処分できる。

そう自分を納得させ、小型スキャナーを買い求め、デジタル化に着手した。以下、いくつかご紹介する。(掲載写真はスキャナー付属ソフトで自動補正済。)



■ダクシンカリ(1993年3月)



■カトマンズ(1993年頃)

【参照】ネパール写真史料

* 民族学博物館 [ネパール写真データベース](#)

* Internet Archive: [Nepal Bhasa Historic Images](#)

谷川昌幸(C)

Written by Tanigawa [編集](#)

2022/08/27 at 15:46

カテゴリー: [ネパール](#), [社会](#), [文化](#), [旅行](#), [歴史](#)

Tagged with [1990年代](#), [カトマンズ](#), [デジタル化](#)